

# こんにちは、総合支援センターです。



〒930-0094 富山市安住町 5-21 富山県総合福祉会館内 TEL:076-432-2987 FAX:076-432-2988  
URL:<http://www.toyamav.net>/E-mail:[info@toyamav.net](mailto:info@toyamav.net)



## 新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いたします。



昨年はコロナ感染症が5月に5類へ移行し、ようやく日常が戻り始め、当センターの活動についても、これまで事業の休止や縮小を余儀なくされていたものが、徐々に従前のような活動ができるようになってまいりました。

昨年10月のボランティア・NPO大会においては、展示ブースや体験コーナーでの対面による来場者との触れ合いを促進するとともに、2年前から新たに取組んだ大型ビジョンを利用した団体PR動画を充実させるなど、交流促進・情報発信により一層の工夫を図りました。12月には「どうする?災害救援ボランティア」と題したボランティア・NPO活動啓発講演会を、会場参加とオンライン参加のハイブリット方式で開催しましたが、オンライン等を活用した参加形式が定着してきたと思います。

コロナ禍によるこれまでの不自由さを忘れることなく、思いのままに活動できるようになる有難さに感謝しつつ、社会の変化を踏まえ、ボランティア・NPO活動も新たなニーズに対応していくことが求められています。

私たちを取り巻く様々な社会的な課題は、ますます多様化・複雑化していますが、その解決のためには、ボランティア・NPOが、行政、企業等と連携・協力し、しあわせ(Well-Being)を実感できる「協働」の地域づくりに貢献して行くことが必要であると考えます。

ボランティア・NPO活動は、人を思いやり、自然環境を守り、文化を大切にし、何よりも心豊かな素晴らしい地域社会を創り上げていくものであり、その役割は増々重要になるものと思っています。当センターでは、今後のさらなる活動の活発化に向けて、支援をより充実強化してまいりたいと考えています。

辰年は、活力旺盛になって大きく成長する年といわれています。皆さまにとって飛躍の年となるようお祈りいたします。

## #富山県民NPOファンドへの寄付金の状況#

令和5年度に、当センターにお寄せいただいた寄付金は次のとおりです。(令和5年12月20日現在)

✿寄付金申込件数 122件 ✿寄付金総額 1,029,000円

多くの皆さまから、あたたかいお気持ちをお寄せいただき誠にありがとうございました。この資金を活用して、今後もNPO活動等への支援を行ってまいりたいと思いますので、皆さまのご芳志をお願いいたします。

(本ファンドの寄付は、寄付金控除の対象となっています。)

## #令和5年度ボランティア活動普及支援事業費補助金 決定一覧#

### 団 体 名

- ・六渡寺自治会
- ・NPO法人富山県レクリエーション協会
- ・富山県地域活性化団体まるごと TOYAMA
- ・NPO法人リボン from とやま
- ・NPO法人 TEAM AVANTE



## Instagram はじめました



Instagramのアカウントを開設しました。

研修・相談会、助成金情報、交流サロンについてなど、様々な情報を発信していきます♪

Instagram アカウント:toyamav521

URL:<https://www.instagram.com/toyamav521/>



# 令和5年度 第35回 富山県民ボランティア・NPO大会

ボランティア・NPO活動の発信や参加・連携・交流を目的として、令和5年10月5日（木）に県総合福祉会館で式典を、21日（土）に富山市総曲輪グランドプラザでフェスティバルを開催しました。

①5日の式典では、庵大会長と横田副知事から挨拶をいただいた後、ボランティア・NPO活動に顕著な功績を挙げられた個人・企業・団体等の皆様(会長表彰:19名・10団体・1企業、奨励賞2団体)と、NPO法人やボランティア団体へ多額の寄付をされた皆様(3名・6企業)を顕彰する表彰式が行われました。また、第2部として過去受賞団体の「福岡子育て支援センター子育てサポーター『ふくっこ』」、学生ボランティア団体「子育て支援サークル『すみりー』」に活動事例を発表いただき、引き続き、発表団体、受賞者、来場者が自由に意見を交換する交流の集いが行われました。

②21日のフェスティバルには、40ものNPO法人とボランティア団体の参加がありました。今年は、パネル展示による団体・活動紹介20ブース、作品等の展示・販売6ブース、7つの体験コーナーを設けたほか、8団体によるステージ発表や16団体による大型ビジョンでの団体PR動画放映を実施しました。生憎の天気にもかかわらず多くの来場者があり、「映像が分かりやすくよかった。」「今後も続けてください。」「自分の力が生かせることがありそうな気がした」などの感想をいただきました。

おかげをもちまして無事大会を終えることができました。

表彰を受けられました皆様、おめでとうございます。ご来場いただけました皆様、そして運営等協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



# NO.11 / 団体リレー紹介!

NPO 法人富山カウンセリングセンター  
からのご紹介!

認定特定非営利活動法人北陸青少年自立援助センター  
理事長 川又 直

1988年に不登校、引きこもりの青少年たちとともに生活し、彼らの自立を支援する共同生活寮「はぐれ雲」を建てました。今年10月に35周年式典を行いました。私は1980年から静岡の牧場で彼らと共同生活を始めています。独立するにあたり富山を選びました。住みやすさ日本一と言われるだけあり、自然環境は抜群だと思います。

共同生活寮の目的は、直ちに学校へ戻るのではなく、社会の一端を経験することによってやがては社会で自立することにあります。そのためには生活リズムをつかみ、しっかりした食事をとることが大事だと考えます。朝起きて体を動かし飯を食う、が基本です。これを継続していけば昼夜逆転していた彼らもアルバイトに行けるようになります。

引きこもり146万人と推計されています。約50人に一人ですが、なかなか話題に上りません。私がこの世界に入った40年前にも引きこもりはいました。30歳過ぎて10年以上引きこもっている人もいましたが、ごく少数です。なぜこんなに引きこもりが増えてしまったのでしょうか。私たち現場の人間が考えるに「引きこもりを知らない人たちが、引きこもりと関わっている」ということです。

引きこもったら見守りましょう、本人が動くまで待ちましょう、その生き方を認めましょう、刺激を与えてはいけない…というアドバイスを受けた親御さんが多いようです。私たちも3年くらいなら待ってもかまわないと思っています。引きこもりでも、社会へ出たい、世の中の役に立ちたいと思っている人はたくさんいます。ただその術を知らないだけで、適切な第三者が直接導いていけばよいことです。

私たち現場は「引きこもりは自立できる」と思っています。

## ボランティア・NPO活動啓発講演会開催!

12月1日(金)に、ボランティア・NPO 活動啓発講演会=どうする?災害救援ボランティア=を開催しました。

近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発していますが、富山県においても、今年6月、7月に豪雨により、高岡市、小矢部市、立山町で災害が発生しています。身近なところで大規模な災害が発生した場合、どうすればよいのでしょうか。

第1部では「大事な人をほんとうに護れますか?~災害支援ナースが伝える被災地の現場~」と題して、国際災害レスキューナースの辻直美さんにお話ししていただきました。実際の経験からされるお話は、とても説得力があり、防災を日常化し、自らの防災力を高めなければ、大事な人を護ることができないことや、平日頃からネットワークづくりが必要という認識を深めました。参加者からは「もう少し聞きたかった」、「切り込んで具体的にお話いただき、もっと勉強したい!」という声を多数いただきました。

第2部では県社会福祉協議会の水井事務局次長、富山県日本赤十字病院の駒見看護師長、JOC富山ブロックの武隈副会長、生協連の若林専務理事をお招きし、「これからの災害救援ボランティア」について意見交換をしていただきました。

参加者からは「地域でこんなに具体的に動いておられる方の話がとてもためになった」など、学びの多い講演会となりました。



講座  
報告

### 生成 AI 体験

11月10日(金)開催

今、メディアでも話題の「生成 AI」。「AI が文章を生成してくれたり、画像を生成してくれたりするけれど、どう活動にいかせばいいのか」、「うまく生成できない」などの声が聞こえてきます。

そこで、NPO 法人 IT コーディネータ富山の宮川さんに生成 AI について解説・指導をいただき、参加者同士グループを作り、実際に生成 AI を利用してイベントの広報チラシを作成しました。よく知られている「ChatGPT」の他にもいろいろなサービスがあり、それらを駆使してグループごとに特色のあるチラシを作成していきました。参加者からは「プロンプト(生成 AI に対する指示や条件)作成についてよくわかった」、「実際に操作しながら進めて分かりやすかった」、「グループで話し合いながらできて良かった」など、大変好評でした。



## #NPO 法人新規設立団体(令和5年8月～11月)#

団体名	代表者	所在地	活動内容 (概要)	認証日
日本フッ化物むし歯予防協会	荒川 浩久	南砺市	この法人は、むし歯予防のため水道水フッリデーションをはじめとする種々のフッ化物利用の公衆衛生活動を目的とします。	R5.8.1
ものがたり倶楽部	佐藤 伸彦	砺波市	この法人は、会員及び地域住民に対して、地域に根差す保健・医療・福祉の増進に関する事業を行い、地域に暮らす誰もが楽しく生き生きとした生活ができることに寄与することを目的とします。	R5.8.8
CCS	黒田 美幸	富山市	この法人は、広く一般市民、特に子育て世代の母親・父親たちに対して、こども食堂や子供の預かり事業を通して、子育て世代同士及び地域住民との交流事業を行い、地域の子育て環境及び学習環境の向上、次世代の子育てについての啓発を行い、安心して過ごせる場を提供することによって子育て世代の孤立の防止と子供の健全育成、地域社会の活性化及び住みよいまちづくりの実現に寄与することを目的とします。	R5.9.7
北陸のおなかの医療を良くする会	安藤 孝将	富山市	この法人は北陸の方々に良質な消化器内科領域の医療を提供するために、消化器内科医の研修・修練及びキャリアプランの支援に関する事業を行い、医療の発展に寄与することを目的とします。	R5.9.13
シャフト	野上 勝司	富山市	この法人は、障害児者(医療的ケア児者含む。)やその家族に対して、療育、保育、教育、休息、子育て支援、医療・福祉サービスの提供、家族の介護負担軽減となるサービスの提供、福祉施設等の運営に関する事業を行い、社会福祉に寄与することを目的とします。	R5.11.1
ミュージカルカンパニーWOZ	櫻井 祐子	魚津市	この法人は、「ミュージカルを通じ地域に元気と感動を！」を理念に、ミュージカルやコンサート等を開演し、観る人・創る人・演じる人がそれぞれの立場から感動・感謝・喜び・生きがいを共有することで、舞台芸術の発展、人材の育成に寄与することを目的とします。また、育成する人材の意識の向上を図ると共に、育成した人材に才能を発揮する場を提供することを通して、より質の高い舞台芸術を地域に発信し、地域の文化芸術振興の一助となることを目的とします。	R5.11.1

### 総合支援センター相談会・講座情報

- ◆会計・税務事務相談会 1月18日(木)(富山)13:30～
- ◆会計税務基礎講座 1月20日(土)9:30～16:00  
1月27日(土)13:00～16:00
- ◆NPO法人設立説明会 1月22日(月)・2月26日(月)13:30～15:00
- ◆ネットワークづくりのためのMEET UP EVENT 1月29日(月)13:30～15:00
- ◆マネジメント力向上講座「決算資料作成説明会」 2月16日(金)13:30～15:00
- ◆助成金説明会 3月12日(火)18:30～20:00



募集中の相談会・講座はこちら



### #令和6年度ロッカー利用団体募集#



富山県総合福祉会館(サンシップとやま)のボランティア交流サロンに設置しているロッカーの利用団体を募集します。印刷用の紙や文房具など、団体の活動に利用する物品の収納に是非ご活用ください。

★応募資格:定期的にボランティア交流サロンを利用する団体で、県内でボランティア・NPO活動を行っている団体  
※詳しくは令和6年度ロッカー利用団体募集チラシをご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み先】認定NPO法人富山県民ボランティア総合支援センターまで  
TEL: 076-432-2987 <http://www.toyamav.net/> Email: [info@toyamav.net](mailto:info@toyamav.net)